

2005年度事業計画

前書き

私たち財団法人日本エスペラント学会（JEI）は、中立言語エスペラントを通じて諸国民の間の友好を促進し、ひいては世界平和に貢献することを願っている。そのために私たちは、国連、ユネスコなどの国際諸機関との連携をこころみつつ、世界エスペラント協会加盟の一員として、その目的達成のために努力をしている。

私たちの活動をめぐる情勢としては、

- 1 諸言語をみると、英語の影響力が巨大化し、言語間の格差を生み、言語使用における不平等を拡大している。その力は、一部の言語の生存を脅かすほどといわれている。
- 2 一方、言語の媒体をみると、インターネットが発達し、エスペラントにとっても、国際交流を容易にし、発展途上国の人々が運動に参加できる条件を生み出している。またインターネットは、あたらしい形態のエスペラント学習者を増大させているといえる。
- 3 海外のエスペラント運動においては、政治的に不安定な国がアジアの一部地域などに存在し、運動への障壁となっている。その一方、エスペラントへ新たな期待をよせる地域も存在する。
- 4 数年来の本会会員数の伸び悩みは、日本のエスペラント運動百周年を控え、回復の兆しが見えないこともないが、本来、エスペランチストが増え、本会会員もそれに伴い増えることが望ましい。そのため、従来からのエスペラント会の運動を大切にするとともに、個人・団体間の多様なネットワーク形成による新たな運動形態の展開など、状況をよく分析し、時代に即した運動発展の方策を検討していく。
- 5 日本では、2006年のエスペラント運動百周年、また2007年の世界エスペラント大会招致などで運動の盛り上がりが見られる。例えば、3冊のザメンホフの本の出版や一斉講習会などがこれにあたる。これらの活動を、私たちの会員増加に結びつけるためにもいっそうの工夫が必要である。

以上の情勢を踏まえて次のような方針で臨む。

- 1 エスペラントの存在意義を会員が再確認し、社会へ向かって広めていく運動をおこなう。
- 2 エスペラントを実際に学ぶ人の数を増やし、本会の会員数を1550人に高める。
- 3 世界のエスペランチストとの交流の場としてのアジアエスペラント大会、世界エスペラント大会の成功に貢献する。
- 4 日本のエスペラント運動百周年（2006年）を記念する事業と2007年の第92回世界エスペラント大会（横浜）の準備を進める。

本会各部は上記方針をもとに、次のような計画を持って活動する。

1 総務部

■基本方針

- 1 エスペラント会館における日常の庶務的業務を確実にこなす。

- 2 ボランティア，委員会を通じて企画活動をすすめる。

■定例事業

1 事務局が主に引き受ける業務

庶務的業務はルーティンワークが多い，これらを会員ボランティアの支援をうけ遂行する。
図書の販売は本の情報を流す「カタログ」や「書評」との連携で行う。

2 事務局が分担しつつ，他の責任の基に行う業務

世界エスぺラント大会旅行団，図書館の管理などは選任された担当者と共同で行う。

3 総務部管轄の委員会による自主的業務

八ヶ岳エスぺラント会館の管理がある。単に委員会に任せずに，他部門との連携を図りながら遂行できるように支援する。

■今年度の重点事業

- 1 各種の基金制度の改訂に取り組む。
- 2 公益法人制度の改革に関する情報の収集等の対応。

2 財務部

■基本方針

- 1 経常収支については均衡予算の原則を貫く。
- 2 将来の当会の発展の基礎に加えるものについては原則として寄付を財源として基金を作り運営する。

3 組織部

■基本方針

- 1 日本の責任あるエスぺラント組織として、エスぺラント諸事業の実施のために、国内エスぺラント団体との連携を進める。
- 2 JEIの活動の基盤である会員への支援と会員からの支持の強化を図る。

■定例事業

1 会員

- (1) 事務局・各部と連携し、会員の定着および拡大を図る施策の実行。

JEIの各種サービスとともに、直接的には、会費更新時期の更新への働き掛け、口座振り替えの勧め、大会・講習会での働き掛け、新入会員への各種割引、新入会員アンケート。

- (2) 会員総会（日本大会内で。今年は10月開催）

- (3) 基礎資料として、会員統計の作成

- (4) 留意事項：エスぺラント会と接触なくJEIに直接入会する会員への支援方策

2 本会支部・エスぺラント会・地方エスぺラント連盟

- (1) 支部代表者会（4月）：支部およびエスぺラント会との連携と情報交換・経験交流、百周年広報相談ほか

- (2) 運動年鑑作成

- (3) 留意事項：連盟レベルとの連携の方策

3 日本エスペラント大会支援

- (1) 日本大会開催支援、日本大会常置委員会 (KKK) 参画、日本大会常置書記 (KKS) 支援
- (2) 日本大会支援基金の管理：アジアの各国代表組織 (Landa Asocio) からの参加費負担ほか。
- (3) 留意事項：2007年以降の日本大会

■今年度の重点事業

上記の留意事項3件の検討

4 国際部

■基本方針

- 1 世界エスペラント協会 (UEA) と協力しながら事業を行う。アジア地域については UEA アジア運動委員会 (KAEM) を通してエスペラント運動の発展をはかる。
- 2 国内外のエスペランティストの国際的なエスペラント活動を支援する。
- 3 百周年記念事業に対して協働する。特に 2007 年横浜での第 92 回世界大会 (UK) に向けて、国際的な広報活動や組織活動に協働する。

■定例事業

1 世界エスペラント協会 (UEA) との協働

- (1) 選出された UEA 国際委員とともに、UEA の諸活動に対する協働をすすめる。
- (2) UEA 個人会員の増加のために、JEI の諸活動と連動させながら広報や募集活動を続ける。
- (3) 第 90 回世界大会 (リトアニア・ヴィリニユス, 7 月 23 日-30 日)に在リトアニア日本大使館から来賓を招くため、必要な手続きをとる。
- (4) UEA アジア基金について、募集と実務的な協力を継続する。

2 UEA アジア運動委員会 (KAEM) とアジアの運動への協力

- (1) KAEM の小委員会 (Subkomisiono de KAEM) への部員の参加により、KAEM の事業計画の Projekto C (UEA 加入者援助) や、"Esperanto en Azio" (アジア地域情報誌) 発行・発送に対する援助を継続する。
- (2) 第 92 回日本エスペラント大会 (横浜市, 10 月 21 日-23 日)でアジア活動分科会 (Azia Agado) を主催する。
- (3) 日本に来訪するアジア人エスペランティストに対する援助を継続する。

3 デレギート (UEA 会員世話人) 連絡網

- (1) UEA の関係機関に協力し、国内のデレギートの現状把握と活性化につとめる。
- (2) 第 92 回日本エスペラント大会会期中にデレギートの分科会を開催する。

4 国際文通サービス

担当部員、JEI 事務局、ホームページ担当者の連携により事業を継続し、関西エスペラント連盟国際部との資料交換や協力も継続する。

5 第 90 回世界大会旅行団への協力

この事業を成功させるため、これまでの実績を踏まえて協力する。

5 編集部

■基本方針

- 1 会誌「La Revuo Orienta／エスペラント」を、本会の活動方針に沿って、各部との連携を密にしながら編集・発行し、エスペラント運動の発展に貢献する。
- 2 全国、地方、県など各段階でのエスペラント運動を相互に結ぶ機能を重視する。
- 3 編集に当たっては、運動・学習・教養の3つのバランスを重視する。
- 4 日本エスペラント運動百周年の成功と第92回世界エスペラント大会（横浜）の成功に寄与する。

■定例事業

1 読まれる誌面づくりをめざし次の点に留意する

- (1) 会員の興味・関心、運動の方向に沿った特集、連載をする。
- (2) 全ての学習段階の読者を想定し誌面づくりを考えるが、初級から中級に焦点をあてた誌面づくりを特に重視する。
- (3) 国際、国内に目を行き届かせ、会員の視野の拡大に貢献する。
- (4) エスペラント文と日本語の分量のほどよい調和をはかる。
- (5) 投稿欄の充実、原稿の募集などで、会員の執筆の機会を増やす。
- (6) 新しい執筆者の発掘につとめる。
- (7) 運動の写真・個人の写真を多く載せ、記録的な要素、視覚的な要素も大切にする。
- (8) 機関誌に関しての会員の意見や感想の聴取を心がける。

2 編集部の体制を強化する。

- (1) 編集会議を毎月開催する。
- (2) 1月に拡大編集会議を開き、次年度の編集方針を確立する。
- (3) 編集部員、メール編集委員（編集部メーリングリストに加入し意見を寄せてもらう編集委員）の拡大をはかる。
- (4) 編集業務をより円滑に行えるよう絶えず見直しを行う。
- (5) 著作権問題などにより注意をはらう。

3 盲人・高齢者向けの音声版会誌の発行を拡大継続する。

4 支部の機関誌・紙活動を組織部との協力を強め支援する。

■今年度の重点事業

日本エスペラント運動百周年に向けた会誌の検討

- (1) 百周年特集号の構想づくりをする。
- (2) 百周年に向けた特集や連載を開始する。

6 研究教育部

■基本方針

- 1 教育部門においては、エスペラント入門のための素材提供、学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成に取り組む。特に全国一斉講習会の実施にむけて組織部と連携する。

- 2 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。

■定例事業

1 試験制度の運営

- (1) エスペラント学力検定試験と新学力テストを日本エスペラント大会やエスペラントセミナー等で実施する。
- (2) エスペラントを正規科目として取り入れている学校での実施をすすめていく。

2 講習会・講座の実施

- (1) 入門・初心者，中級講習会講師養成講座を引き続き行う。
- (2) 教授法・教材等について研究し（教授法研究会），講習会講師用手引書を作成する。
- (3) エスペラント界外の様々な団体・組織等に講座開催を呼びかける。
- (4) 上記団体・組織あるいは学校などに，要請に応じて講師派遣を行う。
- (5) 派遣講師のネットワーク化をはかる。
- (6) JEI 認定講師制度の確立に向けて検討を行う。
- (7) 教材（インターネットを含む）の開発を準備する。

3 国際教育者エスペランティスト連盟（ILEI）日本支部としての活動

2007年のILEI大会が亀岡で行われる可能性がある。このことを考慮し、今後は研究教育部をILEI日本支部として活動する。

4 教職員エスペラント協議会（ALE）との協働

- (1) ALE と協力して，学校へエスペラントを紹介する機会を増やしていく。
- (2) ALE と協力して，日本の小・中・高校および大学でのエスペラント教育のまとめを行う。
- (3) 学校と関わりのあるエスペランティストにアンケートを行い，関係者のネットワーク化をはかる。

5 エスペラントセミナーと体制作り

第 38 回エスペラントセミナーは，今年度は岡山県備前市の県青少年教育センター閑谷学校において開催する。セミナーを各地のグループ・団体と共催で行う場合のスムーズな運営のために手引書を作成する。

6 紀要「エスペラント研究」の発行

広義のエスペラント学振興のための紀要「エスペラント研究/Japana Esperantologio」については，紀要編集委員会において，第3号の編集・発行を行う。

7 研究発表会の実施

日本エスペラント大会を主にして年1回以上，エスペラント学に関する研究発表会を実施する。

8 公開シンポジウム

2005年の横浜での日本エスペラント大会地元準備委員会から，日本エスペラント運動百周年を総括するようなテーマでのシンポジウムを企画してほしい旨の依頼があり，大会期間中（10月21日から23日）の実施を目指す。テーマは「日本人は国際語とどうつきあってきたか ― 言

葉から見る西洋との格闘 ー」。

■今年度の重点事業

- 1 2007年横浜での第92回世界エスペラント大会を視野において、エスペラントをきちんと読み、書き、話す力の向上をめざすための講座を開催する。
- 2 地方会からの中級以上の講座・講演での講師派遣要請にできるだけ応じられるようにする。

7 広報部

■基本方針

- 1 エスペラント界外にエスペラントの存在を知らせる
- 2 日本エスペラント運動百周年記念事業推進のための広報を実施する
- 3 各部・各委員会における事業の趣旨に添った広報を展開する
- 4 JEI支部における広報体制を確立するための構想を策定する
- 5 広報体制を強化する
- 6 JEI-ウェブページを維持・活用・刷新する

■定例事業

- 1 ニュース・リリースを継続して発行する
- 2 日本エスペラント運動百周年記念事業委員会（JJJ）認定事業の趣旨に添った広報を実施する
- 3 シンポジウム，セミナー，世界大会，日本大会，八ヶ岳エスペラント館運営委員会，KAEM等々関連部会・委員会と連動して，それぞれの事業の趣旨に添った広報を展開する。
- 4 支部代表者会議の枠内で，支部における広報課題を討議してもらう。
- 5 上記にあわせて2004年広報白書発行を検討する。
- 6 広報基本資料をウェブページおよび広報白書の一部として公刊する。
- 7 対応先メディアリストを収集し，活用する。
- 8 「月刊情報グラスネット」などウェブでの情報発信の可能性を探索し，実施する。
- 9 新『エスペラント便覧』発行を準備する。
- 10 既存広報媒体の活用と刷新，新規発行を検討する。
- 11 JEI-ウェブページを刷新する。

8 出版部

■基本方針

- 1 広報，学習，実用に役立つ出版を企画，推進する。
- 2 百周年を記念する出版について百周年委員会と連携して推進する。

■定例事業

- 1 出版の企画や著作権について検討する。
- 2 需要が見込め，原稿の用意のととのったものを出版する。

■今年度の重点事業

- 1 百周年事業関連（別途，百周年の項参照）
- 2 エスペラント日本語辞典（仮題）の2006年6月の出版を目指した体制をつくる。

9 日本エスペラント運動百周年記念事業

■基本方針

- 1 2005 年度を日本における組織的運動百周年到達の年と位置づけ、横浜で開催の第 92 回日本大会を百周年総まとめの場とする。
- 2 事業を文化事業、催事、普及活動に大別し、関連各部・各委員会と連動して、百周年記念事業に取り組む。
- 3 日本エスペラント運動百周年事業委員会（JJJ）事務局として、百周年記念事業を推進する。

■定例事業

1 文化事業（主として出版活動。出版部と連動）

- (1) 『百年史』発行を準備する。
- (2) 『分野別百年史』発行を関係者へ呼びかける。
- (3) 『会誌 La Revuo Orienta1000 号目次集』を発行する。

2 催事

- (1) 本年第 92 回日本エスペラント大会（横浜）を百周年総まとめの場として活用する。この旨同大会主催者へ申し入れる。
- (2) 2006 年、第 93 回日本エスペラント大会（岡山）を日本の組織的運動第 2 世紀の幕開けの場として活用するため、日本エスペラント運動百周年事業委員会（JJJ）と協力して準備に当たる。
- (3) 2007 年、第 92 回世界エスペラント大会（横浜）開催に向けて日本エスペラント大会地元準備委員会に協力する。

3 普及活動（広報部、組織部と連動）

- (1) 広報部と連動して、百周年記念事業を最高の広報機会として最大限に活用する。
- (2) 会員増強キャンペーンを組織部と連動して実施する。
- (3) 支部設置キャンペーンを組織部と連動して実施する。
- (4) 入門講座開催キャンペーンを組織部と連動して実施する。
- (5) 「エスペラントの日」開催キャンペーンを組織部と連動して実施する。

10 第92回世界エスペラント大会（横浜）

2007年に横浜で開催される世界エスペラント協会（以下UEA）主催第92回世界エスペラント大会に向けてUEAと協働し、以下の事業を進める。

1 UEAの承認を得て国内準備委員会（以下LKK）を発足させ、LKKと協働して次の準備作業にあたる。

- (1) U E A世界大会事務局長（KKS）を迎え、第1回LKK会議を開催する。
- (2) 準備の進捗状況を知らせるため、LKK会議議事録をUEA、LKKおよび関係者に配布する。
- (3) 大会顧問団を人選し、依頼する。
- (4) 大会ホームページを立上げ、管理する。
- (5) 第90回世界エスペラント大会（リトアニア）においてスタンドを設置し、大会番組に参加

して広報活動を行う。

- (6) 大会シンボルマークを選定する。
 - (7) 大会記念切手発行の可能性を探り、記念スタンプを作成する。
 - (8) 大会予算案を作成し、UEAへ提出する。
 - (9) 大会テーマについて協議し、UEAへ提案する。
 - (10) 大会第1報 Unua Bulteno を発行し、参加登録書を作成する。
 - (11) 大会シールを作成する。
 - (12) ホテルとホームステイの宿泊計画をたてる。
 - (13) 大会中・大会前後の観光を計画する。
 - (14) こども大会開催の可能性を探る。
 - (15) 大会大学について関係者と折衝する。
 - (16) 芸術プログラムをUEAへ提案する。
 - (17) 第1回会計報告をUEAへ提出する。
- 2 広報部と協力し、エスペラント界外へ向けて積極的な広報活動を行う。
 - 3 その他、関連部と協力し、助成金申請、ボランティアの募集など、必要とされる準備を行う。